

各 位

上場会社名	テクマトリックス株式会社
代表者	代表取締役社長 由利 孝
(コード番号)	3762)
問合せ先責任者	企画部長 森脇 喜生
(TEL	03-5792-8601)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	280	280	80	1,324.55
今回発表予想(B)	6,600	175	180	30	496.71
増減額(B-A)	△600	△105	△100	△50	
増減率(%)	△8.3	△37.5	△35.7	△62.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	6,586	192	208	72	1,195.41

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,300	260	260	130	2,152.39
今回発表予想(B)	4,850	130	135	60	993.41
増減額(B-A)	△450	△130	△125	△70	
増減率(%)	△8.5	△50.0	△48.1	△53.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,900	186	213	115	1,907.21

修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、ヨーロッパでの信用不安が広がったことから円高・株安が急速に進行しました。これに伴い、企業がIT投資を抑制する傾向が顕著になっており、当社グループの顧客においても案件規模を縮小したり、発注の意思決定を先送りするケースが増加しております。例年受注が積み上がる9月(多くの日本企業の上半期末)もその傾向は変わりませんでした。また、全体のパイの減少により他社との競合が一層激化しており、利益率が低下する傾向も認められます。これらの影響により、売上高が当初の予想を下回る見通しです。また売上高の減少により、営業利益・経常利益・四半期純利益につきましても、当初の業績予想を下回る見通しです。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

情報基盤事業では、主力の負荷分散装置が頭打ちとなりました。また全般的に製品販売が苦戦しました。子会社のクロス・ヘッド株式会社ならびに沖縄クロス・ヘッド株式会社につきましては、ネットワークインフラの保守/運用/監視などの請負業務が順調に推移しました。

アプリケーション・サービス事業では、インターネット・サービス分野や金融分野が概ね堅調に推移しました。ソフトウェア品質保証分野は好調に売上げを伸ばすことができました。医療分野では、競合他社の積極的な価格攻勢が継続していますが、売上・採算面は改善しました。CRM分野は、クラウド型 SaaS サービスの比率が想定以上に増加しました。SaaSサービスは、売上を月次で繰り延べるために売上・採算面で苦戦しました。

なお、通期の業績予想につきましては、平成22年5月7日の公表の予想値に変更はありません。